

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会熊本市支部

なすの20t どりを目指して ～なす栽培マニュアルの作成～

JA熊本市茄子部会は、会員数172名、約80haでなすを生産する県下最大のなす専門部会です。部会では、令和2年産から授粉作業が不要な省力化品種「PC 筑陽」の導入を行い、労力削減を図ってきました。これにより、1人あたりの栽培面積増加につながるなど、プラスの効果が見られていますが、「PC 筑陽」は草勢管理が難しく、生産者間で収量の差が大きいことが問題となっています。

そこで、「PC 筑陽」の栽培技術の定着を図るため、栽培マニュアルを作成し、栽培技術の早期定着を図ることとしました。

マニュアル作成のために、野菜振興協会技術部会のメンバーに加え、種苗メーカー一等と連携し、検討会を令和6年6月～令和7年2月にかけて計4回実施しました。本マニュアルは、農業研究センターの研究成果(施肥量やかん水量)に加え、天敵利用技術等を盛り込み、新規就農者からベテラン生産者まで活用できるよう、内容を充実させています。また、スマートフォンでの利用を想定し、月ごとの作業が見やすいように構成しています。

令和7年6月に再度最終協議を行い、令和7年8月から始まる作において、生産者が活用できるよう、配布を行う予定です。



栽培マニュアル検討会



PC 筑陽版栽培マニュアル